

新宿区名誉区民の皆さんをご紹介します

新宿の文化や名誉区民の方の功績を肌で感じてみませんか

●故金子鷗亭さん
(書家・下落合・平成9年3月15日顕彰)



新しい書の理念を探求し、芸術としての現代書の創造を提唱され、近代詩文書運動の推進に情熱を傾けられました。昭和62年に文化功労者として顕彰され、平成2年には文化勲章を受章。平成6年には東京都名誉区民として顕彰されました。

●故小平邦彦さん
(数学者・中落合・平成9年3月15日顕彰)



昭和29年に国際数学者会議において、優れた業績を上げた数学者に贈呈される「フィールズ賞」を日本人として初めて受賞されました。また、昭和32年には日本学士院賞、文化勲章、昭和62年には勲1等瑞宝章を受章されました。

●故田中傳左衛門さん
(歌舞伎囃子方・中町・平成9年3月15日顕彰)



昭和39年に「歌舞伎囃子協会」を設立、初代会長として歌舞伎囃子の保存、振興に尽力し、歌舞伎囃子界の重鎮として活躍されました。昭和45年に紫綬褒章を受章、昭和53年には重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けました。

●故富永直樹さん
(彫刻家・若葉・平成9年3月15日顕彰)



日展理事長、顧問等や日本彫刻会理事、理事長等の要職を歴任し、日本彫刻界の重鎮として活躍されました。昭和59年には文化功労者として顕彰され、同年、勲3等瑞宝章、平成元年には文化勲章を受章されました。平成3年、区立漱石公園に漱石像を制作されました。

●故米川敏子さん
(箏曲演奏家・杉並区・平成9年3月15日顕彰)



昭和17年の日本文化連盟コンクール第1位を始め、芸術祭優秀賞を受けるなど高く評価され、昭和58年に紫綬褒章、平成8年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受け、平成15年に文化功労者、平成17年に旭日重光章を受章されました。

●西川扇藏さん
(日本舞踊家・市谷台町在住・平成12年1月5日顕彰)



日本舞踊の古典発掘・伝承並びに新作創作の発展に努め、国民的芸術としての普及や海外活動を通じての国際化に尽力されています。平成元年に紫綬褒章、平成3年に日本芸術院賞、平成11年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けました。

●東音宮田哲男さん
(長唄唄方・払方町在住・平成12年1月5日顕彰)



長唄唄方の代表的演奏家として活発な演奏活動を展開し、長唄東音会の理事として後継者の養成にも尽力されています。平成10年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受け、平成12年には紫綬褒章、平成15年に芸術院賞を受賞されました。

●鶴賀若狭掾さん
(新内節浄瑠璃・神楽坂在住・平成14年3月15日顕彰)



新内節の普及、啓蒙のための伝統的な演奏会や新曲の創作、他分野(能、車人形等)とのコラボレーションを実現。海外公演では英語・スペイン語等の新内を語り、活躍されています。平成13年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受け、平成18年に邦楽界初の天覧演奏会を開催しました。

●山勢松韻さん
(箏曲演奏家・市谷甲良町在住・平成14年3月15日顕彰)



昭和39年~40年、アメリカワシントン大学客員講師として勤務。帰国後、文化庁芸術祭賞3回、芸術選賞文部大臣賞を受賞、平成10年に紫綬褒章を受章、平成13年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受け、平成14年には芸術院賞を受賞されました。

●鳥羽屋里長さん
(歌舞伎音楽長唄唄方・矢来町在住・平成16年1月5日顕彰)



歌舞伎音楽長唄の技法を高度に体现した活動に加え、国立劇場「歌舞伎音楽(長唄)」研修主任講師、社団法人長唄協会会長として、後継者の育成に努めています。平成14年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けました。

●三川泉さん
(能シテ方・本塩町在住・平成16年1月5日顕彰)



繊細精妙で品格のある芸風、明確な謡に定評があり、宝生流能シテ方の技法を最高度に発揮して高い評価を得ています。また、社団法人日本能楽会理事などを歴任し、後継者の育成と伝統芸能の振興に尽力されています。平成15年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けました。

●やなせたかしさん
(漫画家・片町在住・平成16年1月5日顕彰)



国民的キャラクターとして愛されている「アンパンマン」の原作者であり、絵本作家のほか、作詞家、作曲家、脚本家等として、多方面で活躍されています。平成16年6月には、区の防犯マスコットキャラクターとして「新宿シンちゃん」を寄贈していただきました。

●大山忠作さん
(日本画家・中井二丁目在住・平成19年3月15日顕彰)



人物画を中心に、宗教的作品、花鳥、風景と幅広い題材に取り組み、写生を踏まえた平明で繊細な描写が独自の芸術的境地を示し、スケールの大きな画家として高く評価されています。平成8年に勲3等瑞宝章、平成11年に文化功労者、平成18年には文化勲章を受章されました。

●亀井忠雄さん
(能楽囃子方・中町在住・平成19年3月15日顕彰)



現在最も高い評価を受けている能楽囃子方の一人で、高い芸術性を備えた美しい音色に定評があります。日本能楽会理事等を歴任し、伝統芸能の振興と後継者の育成に尽力されています。平成14年に重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受け、平成16年に紫綬褒章を受章されました。

●三遊亭金馬さん
(落語家・新宿七丁目在住・平成19年3月15日顕彰)



現役落語家で最高の高座歴を誇り、声色に極端な変化を持たせず登場人物のセリフ回しやしぐさといった話芸の基本でストーリーを容易に楽しませる落語を演じ、平成12年に勲4等瑞宝章を受章されました。落語協会常任理事等を歴任し、伝統芸能の振興と後継者の育成に尽力されています。

新宿区名誉区民展

① オープニングイベント

やなせたかし氏のアンパンマンコンサート

アンパンマン・ばいきんまん・新宿シンちゃんも登場する楽しいコンサートです。

【日時】9月20日(土)午後2時~3時30分(予定)

【会場】四谷区民ホール(内藤町87)

【対象】区内在住の方、400名

※小学生以下の方だけの申し込み・入場はできません。必ず保護者が付き添ってください。

※ベビーカーのお預かり・客席内への持ち込みはできません。

② ファイナルイベント

名誉区民による日本の伝統芸能の共演

【日時】10月18日(土)午後2時~4時(予定)

【会場】新宿文化センター(新宿6-14-1)

【対象】区内在住・在勤の方、千700名

【内容】▼西川扇藏さん(日本舞踊)・東音宮田哲男さん(長唄)・山勢松韻さん(箏曲)の共演による「喜三の庭」、▼鶴賀若狭掾さん(三味線)・新内伸三郎さんによる新内「十三夜」(樋口一葉作、鶴賀若狭掾脚色・作曲)、▼三遊亭金馬さんによる落語

……………(以下共通)……………

【費用】無料

【申込み】往復はがきに記載例(4面参照)のほか希望人数(1通で①は4名・②は2名まで)を記入し、①は8月25日・②は9月10日(必着)までに総務課総務係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎3階) ☎(5273)3505へ。応募者多数の場合は抽選し、①は9月10日(水)・②は9月30日(火)までに結果をお知らせします。

新宿歴史博物館開館20周年記念特別展

新宿区名誉区民展

名誉区民の方の優れた功績を、作品や愛用品等を通してご紹介します。詳しくは、後日、「広報しんじゅく」でお知らせします。

【期間】9月20日(土)~10月19日(日)

【費用】無料

【会場・問合せ】新宿歴史博物館(三栄町22) ☎(3359)2131へ。